

Sun Storage Common Array Manager

クイックスタートガイド

このマニュアルでは、Oracle の Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアをインストールする基本的な手順について説明します。以前のバージョンからアップグレードする場合、または追加情報が必要な場合は、次の場所で『Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアインストールおよび設定マニュアル』を参照してください。

<http://docs.sun.com/>

Sun Storage Common Array Manager では、次のアレイをサポートしています。

-
- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| • Sun Storage 6000 アレイシリーズ | • Sun Storage F5100 フラッシュアレイ |
| • StorageTek 2500 アレイシリーズ | • Sun Storage J4000 アレイシリーズ |
| • StorageTek FlexLine アレイシリーズ | • Sun Blade 6000 ディスクモジュール |
-

▼ Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアのインストール

1. 次の場所からソフトウェアをインストールします。

<http://www.oracle.com/us/products/servers-storage/storage/storage-software/031603.htm>

2. 次のシステム要件を満たしていることを確認します。

Sun SPARC サーバー、ワークステーション、 x86 コンピュータ	Solaris 9 OS、Solaris 10 U9 OS、OpenSolaris 2009.06 および 1070M バイトのディスク空き容量
Windows サーバー	Windows 2003 SP2、Windows XP Professional SP3、Windows 2008 SP2、 Windows 2008 R2 および 1175M バイトのディスク空き容量
x64 コンピュータ	Red Hat Linux 4.7 と 5.4、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP3 と 11 SP1、 Oracle Enterprise Linux 5.4、Oracle VM 2.2 および 1000M バイトのディスク空き容量

注 – サポートされる最新のオペレーティングシステムについては、『Sun Storage Common Array Manager リリースノート』を参照してください。

インストールスクリプトは、必要なディスク容量を確認します。各ディレクトリの容量要件の詳細を確認するには、『Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアインストールおよび設定マニュアル』を参照してください。

3. ダウンロードしたパッケージを展開または解凍し、ファイルを次の場所に保存します。

```
/install_dir/Host_Software_6.x.x.x
```

DVD からソフトウェアを読み込む場合、処理中にファイルが展開されます。

4. 次の場所から最新のサーバーパッチを入手します。

<http://sunsolve.sun.com>

5. 適切なオペレーティングシステムコマンドを使用して、root (Solaris OS) または Administrator (Windows) でインストーラを起動します。

オペレーティングシステム	コマンド
Solaris OS	RunMe.bin
OpenSolaris OS	pfexec ./RunMe.bin
Windows	RunMe.bat
Linux	RunMe.bin

6. ライセンス契約を確認し、同意してください。
7. 「標準」(フルインストール) を選択して、Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアをフルインストールします。フルインストールには次のパッケージが含まれます。
- 管理ホストソフトウェア (GUI あり)
 - データホストプロキシエージェント
 - 管理ホスト CLI クライアント
8. インストールが完了すると、「結果の表示」画面が表示されます。

▼ データホストプロキシエージェントのインストール

JBOD アレイへの帯域内接続を持つ各データホストに、プロキシエージェントをインストールします。

1. **手順 5** の説明に従って、インストーラを起動します。
2. ライセンス契約を確認し、同意してください。
3. 「カスタム」>「データホストプロキシエージェント」を選択します。
4. インストールが完了すると、「結果の表示」画面が表示されます。

▼ 管理ホストのファイアウォールの構成

1. ポート 6789 の例外を許可するように、ファイアウォールを設定します。
2. ファイアウォールのプログラムによってポートを設定するように求められた場合、ポートを開放する手順については、お使いのファイアウォールのマニュアルを参照してください。

▼ 着信および発信ポートの開放

デフォルトでセキュリティ保護された Solaris OS、OpenSolaris、Linux、および Windows プラットフォームでは、次の着信および発信ポートを開放してください。

ポート	ポート番号	説明
着信ポート	TCP 6788	6789 にリダイレクトするコンソール用 HTTP ポート
	TCP 6789	コンソール用 HTTPS ポート
発信ポート	TCP 25	FMS (Fault Management Service) からの電子メールイベント通知に使用される SMTP
	UDP 161	FMS からのイベント通知トラップに使用される SNMP
	TCP 2463	アレイとの RPC (遠隔手続き呼び出し) に使用
プロキシエージェント用ポート	8653	プロキシエージェントをインストールする場合にのみポートを解放

▼ 管理ソフトウェアの起動

1. 管理ホストの IP アドレスを使用して、管理ソフトウェアにアクセスします。

<https://cam-management-host:6789>

2. root (Solaris OS) または Administrator (Windows) でログインします。

「Oracle Java Web Console」ページが表示されます。

▼ 次の手順

次の作業の詳細については、『Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアインストールおよび設定マニュアル』またはオンラインヘルプを参照してください。

- 初期サイトとアレイ情報の設定
- アレイの登録
- 管理機能の設定
- ユーザーの追加および役割の設定
- 障害管理通知の設定
- ASR (Auto Service Request) の設定
- RAID の上級機能の有効化
- 基本的な RAID ストレージの構成
- JBOD アレイのアクセス構成の設定 (ゾーン)

連絡先情報

マニュアル	http://docs.sun.com/
サポート	http://jp.sun.com/support/
トレーニング	http://jp.sun.com/training/
パッチおよびファームウェアの更新	http://sunsolve.sun.com
このマニュアルに関するコメントの送信	次の「Feedback[+]」リンクをクリックしてお送りください。 http://docs.sun.com

注 – このマニュアル内に、機能しない URL のリンクが見つかった場合には、最新の『Sun Storage Common Array Manager リリースノート』で更新後の情報を参照してください。Oracle による Sun Microsystems 買収のため、このマニュアルに記載されている URL は廃止される可能性があります。

Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

